

令和7年2月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	6,042	9,488	4,760	4,728	12	25
2 千 石	4,278	6,980	3,493	3,487	△ 4	1
3 内 山	5,938	8,144	4,380	3,764	3	2
4 大 和	3,693	6,718	3,336	3,382	0	△ 4
5 上 野	7,535	15,347	7,494	7,853	△ 8	△ 35
6 高 見	7,606	13,480	6,399	7,081	6	15
7 春 岡	7,391	11,293	5,994	5,299	34	31
8 田 代	11,431	21,957	10,524	11,433	21	5
9 東 山	10,430	19,020	9,280	9,740	△ 1	14
10 見 付	4,577	8,401	4,234	4,167	△ 9	△ 30
11 星 ケ 丘	3,632	6,840	3,034	3,806	△ 6	△ 24
12 自 由 ケ 丘	3,555	7,066	3,190	3,876	△ 5	△ 21
13 富 士 見 台	6,531	14,967	6,800	8,167	6	△ 16
14 宮 根	3,824	7,879	3,634	4,245	5	△ 9
15 千 代 田 橋	3,784	8,081	3,778	4,303	△ 1	△ 17
千 種 区 計	90,247	165,661	80,330	85,331	53	△ 63
R6. 2. 1	88,857	165,108	80,120	84,988	2	△ 32
対 前 年 比	1390	553	210	343	51	△ 31
名 古 屋 市	1,177,191	2,331,413	1,144,190	1,187,223	341	△ 741
愛 知 県 (R7. 1. 1)	3,372,687	7,461,111	3,714,755	3,746,356	△ 302	△ 3,299

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	75	220	△ 145	837	755	82

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015		
平成7年	148,847	平成27年	164,696	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の住宅の建て方、構造、所有の関係

今回は先月に引き続き、5年ごとに実施されている住宅土地・統計調査の令和5年調査結果から、住宅の建て方、構造、所有の関係についてみていきます。

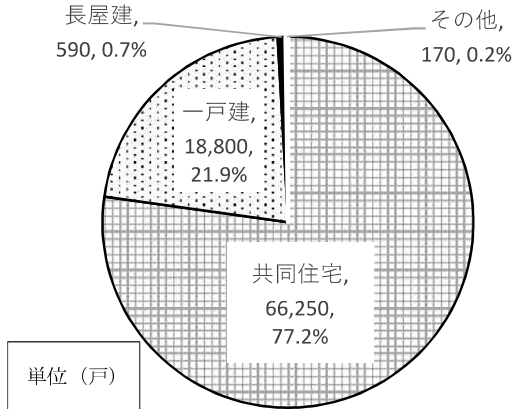


図1 住宅の建て方別

住宅の建て方をみてみますと(図1)、共同住宅は66,250戸で建て方別の約77.2%を占めています。千種区は共同住宅の割合が、中区95.4%、東区85.1%に次いで3番目となっています。一戸建は18,800戸で約21.9%を占めています。一戸建の割合では緑区51.0%、守山区45.4%で千種区は14番目となっています。

名古屋市中心部で共同住宅の割合が高く、市の東部で一戸建の割合が高くなっています。

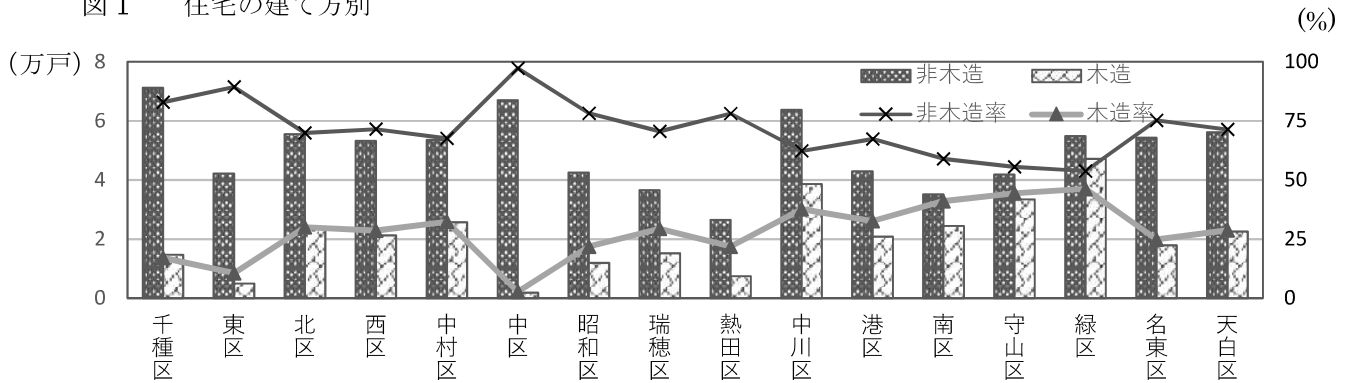


図2 住宅の構造 (非木造・木造)

次に構造についてみてみますと(図2)、千種区の非木造の住宅数は71,140戸、木造の住宅数は14,680戸です。割合は82.9%と17.1%です。千種区は非木造の住宅数が全区で1番多くなっています。非木造の割合では中区97.3%、東区89.4%に次いで千種区は3番目となっています。

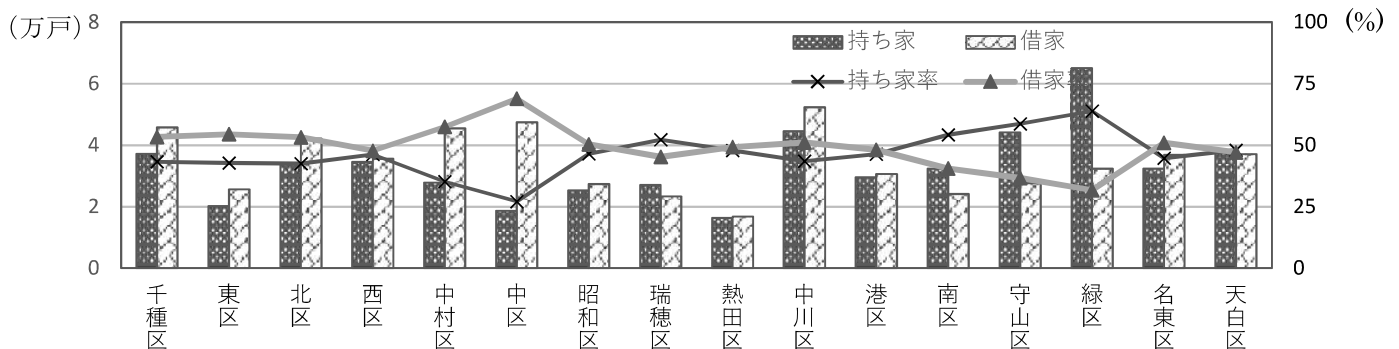


図3 住宅の所有の関係 (借家・持ち家)

最後に所有の関係についてみてみますと(図3)、借家の住宅数は45,760戸、持ち家の住宅数は37,160戸です。割合は53.3%と43.3%です。千種区は借家の住宅数が、中川区52,280戸、中区47,450戸に次いで3番目となっています。